の開発事

大屋団長米フォーラム大会で演説

発子力産 東京都港区芝 1の1(東域ビ) 電話 (59) 69 振替 時 脱 定価一部 一年分前金

所 (定 (定 (で () (

夜十時に変更されたが、更に翌一 な物腰ながら軽いユーモアもまじ といった気軽さ。学究肌の慎重

(1)

ユール・ケロン氏は、十月一日午 フランス原子力庁総合計画局長ジー七時間遅延したのである。 も荷物もない。ちょっと来て見た 班のフラッシュを浴びる。同伴者 関を初め各関係者の出迎える中 にき雨空の下に仏大使以下大使館 アリした巨体を現わして新聞写真 五時半通関手続を終え、ガツ で午前中降發し、午後一時半から との日のスケジュールに入った。 が、同日は非常に疲労していたの で宿舎プリンス・ホテルに入った あいさつを終えた同氏は直ちに申

◆十二百 名古屋工菜試験所、午

後塵菜会骸辭淑会◆十三日 新三

のようになっている。

屋に向うが、同日以後の日程は次 奈に遊び、十一日小田原から名古 セプションに出席する。十日は川 視察し、夜は日仏工薬技術会のレ

ゲロン氏は、一睡ののち午後一時 問、三日以後の隣演会、ゼミナー 委員会を訪問した。二日は国会議 員と懇談したのち学術会議を訪 半から仏大使館、外務省、原子力 一日朝プリンス・ホテルに入った ゲロン氏の日程 物令十九日 奈良見物、 員会、外務省にあいさつして同夜 発大阪着**◇十五**日 阪大訪問、大 菱重工視絲◆十四日 都發令十八日 京都大学、京都見 阪見物、午後産菜会飯路演会◆十 金属、住友電工視祭◆十七日三 六日 午前セミナール、午後住友

羽田空港に降り立ったゲロン氏

の賦存状態、探査採鉱の実情及び一状と将来」

力壁築会議、日仏工薬技術会、日

演題「フランスの資源と原子力

演題「フランスにおけるアイン

画を実施しさらに昨年からは新し

ンスは第一次原子力開発五カ年計 力を注いだ。一九五二年からフラ

いプランで第二次計画に入ってい一ることになった。

程は次の通りである。

▼名**喜**(士 | 〒午後 | 蒔・愛知

子炉をパリ郊外シャチョンに建設

ンであり、まず最初に小型実験原

じた資金の累計は約一四六億ブラ

続いたが、この間に原子力庁の投 基礎研究の段階は一九五一年まで 動員して基礎研究に入った。との

会議、原子力平和利用中部慇睒会

ル・プーシェのウラン製錬工場の

ジュール・ケロン氏による行事日 来日した仏原子力庁総合計画局長

第五回原子力月例懇談会は五日

一フランスの立場から見た各種発電 | 炉の比較及び燃料サイクルの問題

的事業の基盤をなすことすらある

なお質目本原子力産菜会磁会長は

**歴政会の席上、フランスの産業会一て英語で行われた。との日他の各一平和利用に対する関心と

興味が急**

した。演説は二十五分間にわたっ

大屋団長はまず、日本人の原子力

市のモリソン・ホテルで開かれた

三百別米フォーラム年次大会に出席した。 日本原子力産薬使節団は、九月二十五日から

参加する築まりであり、

わが国は大屋団長が

との大会は各国の指導的地位を持つ代表者が

を与えられた。(演説全文は二面に収録) 代表として日本の原子力事情を発表する機会

> 台には個人間の友情が大きな国際 の将来等に及び、母後に、ある場

感財電報を発してその労をねぎら

御一同一路平安を祈る 使命を達成せられ感謝にたえず 成功

現にフォーラムスピーチの き、使節団の使命、使節団の母体テンボに盛んになったことから説

講演会等の日取り

年全仏科学基金の関査給数生マー 学、华、短一般) > 九三 加班)化学部員、ついで部長(緩」ヴァリエ) 物理化学跳)又一九四一~四五年 究所商級皆議会員(鉱物化学及び 研究部長>一九三九年純粋化学研 九三五年パリ大学理学博士マー 原子力研究イギリス班(ついで英) 九三八年ストラスアルグ理科大学

千代田(27)一 ゲロン氏の略歴

▽一九二七年パリ大学理学士

年レジオン・ド・ヌール賞(シュ 放射性物質使用委員会副委員長

(ひ・E・A) で、首相の

てることになっている。

設された。ただちに国内と大戦中

◇一九三五年フランス科学協会よ り受賞(アトリアン賞)一九四九 核研究所理事、国立技術調査協会 迎絡委員会正委員、物理化学協会 校補修醬嵌会員、放射性物質各省 原子力庁サクレー核研究所長マー 理事マー九五五年ストラスプルグ び物理化学部長、バリ高等化学学 年工芸院核化学講座担当講師、 原子力庁は一九四五年の十月に創

フランスの原子力事情

米 ト四日間とも日本原子力産業会

- ク
高級自由学校科学班員、モン 随 ▼東京第一日(十月三日・会場以 気クラブ・主催日本原子力産業会 上の問題点等) ◇ゼミナール及び腕題

てその歴史、現状、将来及び開発 開発について」(関連産業を含め **渡題**「フランスにおける原子力

▼大阪 (十五日午後) 一時・大阪電 ▼東京第三日(四日)燃料収索の▼東京第三日(五日)原子力開発における物理化学的結問題についてにおける物理化学的結問題について「大力開発」「大 ▼東京第三日(五日)原子力別 ▼東京第二日

中性子跳) V一九四元年ニューヨ

▼東京第四日 (八日) アイント

▼大阪(十六日・会場大阪商工 **厳所西集会室) 放射線化学に** 1957年度

海外雜誌・新聞御予約の好機 本年も海外雑誌・新聞御予約のシーズンとなりま ハナものは704年は、新田田ア村のシー人ンとなりました。 例年の通り御選択の一助として、各国のも分野にわたる主要な見本を取揃え、下配の展示会を開催いたします。 多端な国際が慣や日進月歩の世界知識の把握にぜひこの好機を御利用下さい。

一見本展示会 -

10月5日(金)—13日(土)(日曜定休)

館館 (27)2321 東京・日本福州書 振器 東京5番 都内田荻所~丸ビル 1階

からシカゴ市で開催された米フォーラム年次大会に全員出席して いるが、これに先だって大屋団長は、米国原子力産菜会議のシス 【シカゴ九月二十六日発館】日本原子力産業使館団は、二十五日

その後到希した使節団からの連絡 | 行した甲入れ三事以について懇談 | ラー会長、大屋団長の共同発表を | も意見の一致をみたが、事務聯 行ったものである。なおとの両フ し、二十五日原則的に斌見の一致を見た。 大屋団長から各国の出席者に対し正式に発表された。 ついては、二十六日夜のフォーラム大会で、シスラー会長並びに このうち日米合同原子力産菜会議を明年四月東京で開催する件に

ラー会長ほか幹部と、日本側申入れ三郡項(①日米原子力合同会

議開催について②貴フォーラムへ当フォーラム事務職員を駐在せ

しめる件について③原子力平和利用基金に関する件)に関し折衡

を も類見の一致をみたが、 事務職員 との具体化をはかることに決定したの条件で、ロビンス氏来日の際 その具体化をはかることに決定し

L・シスラー会長、チャールス・

その国一十六日夜の晩食会でシスト 談する件については快く受路し、

また原子力平和利用基金について

によって明らかになったことは日

した結果、来年四月東京で開催さ

現在建設中のものを含めフランス は六基の原子炉をシャチョン、サ クレー、マルクールに設けている。マルクール原子力センターではブルトニウム生産を乗ねた天然ウラン、巣鉛発電用原子炉三速を一九五四年から建設中で、本年一月から出力五千が20原子炉一基(Gーフーン)が運転を始め、年産一五ず20のアルトニウム生産が予定されている。さらにのこりの出力三方がいる。さらにのこりの出力三方がいる。さらにのこりの出力三方がいる。さらにのこりの出力三方がいる。さらにのこりの出力三方がいる。さらにのこりの出力三方がいる。さらにのこりの出力三方がいる。本年六月フランスはアメリカから受け 放射線測定器

齏」、D.L社製・シンチャーショント

・カウンターヘツド • 高圧電源 デイスクリミネーター (含増巾器)

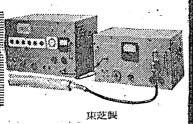
東陽通商株式會社

社長 **奥村 喜 和 男**本 社 東京都中央区日本橋本石町1-2 電話日本橋(24)代表5 2 7 6番 出張所 大阪市西区制下通1-10宮屋ビル 電 話 土 佐 畑(44)0 9 0 2 番

• 波窩分折器

| 日の加藤 カウンターヘッド・計数器 653型 此の他外囲製品については是非一度弊社に 御照会下さい

放射線計数器 各 種 G.M.管型サーベーメーター 電職情型サーベーメーター (******) ポケツトチャンパー及び チャージャーリーダー X 糠 選 計 (")"メーター) 医 漿 用 深 部 線 量 計 フィルムパッチ練盤計



Toshiba

シンチレーションカウンター

東芝医療電気株式会社 ·本社 東京都中央区銀座7丁目5電話(57)6171(5)5571(4) 安店 東京・大阪・福岡・仙台・名古屋・広島・札幌・金沢・高松・松本 實業所 静岡・鹿児郎・松江・小倉・岡山・前橋・京都・神戸・沙田・下関 ワシントン入りをした。大屋氏に

菜会職に出席したのち、二十九日

る日、米、仏、西ドイツ原子力理一一行は二十七日、米原子力委員長

カ所で製造しているーは、従来大 よると、米原子炉製造菜界―十一

原子炉(十万・以上のもの)製

産業会議調査団は、シカゴにおけ

の説明があった。

米小型炉製造に乗出す

大屋団長ワシントンで語る

|使用する考え方がでてきていると

ォーラム 年次大会における **阿里斯斯斯**

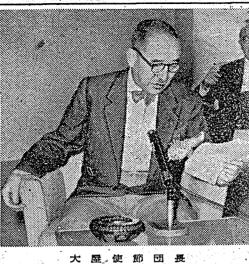
先進国の援助を期待 し開発促進

03.

原子力産業使節団が欧米歴訪の途次、その主要目的の一つであ る米フォーラムの年次大会に、日本の正式代表として出席し、

とって無上の光栄と喜びである。 和利用の面で御支援と御協力を願う機会を与えられたことは、私に して、また、もしできるならば列席の方々に、今後日本の原子力平 た日本のシチズンのために、私がことに日本の原子力の事情を説明 われわれのアトミック・インダストリアル・ミッションの全員、ま

を、速かに取り返そうと官民共にストレニアス・エフォートを続け 急テンポにたかまり、どうにかして戦時中及び戦後にわたる空白の かかる大人数の使節団が、皆様と共にことにあることを見ても、そ 本の最も有力な代表的会社の経営首脳者および幹部技術者からなる 日本の産業界もその例外でなく、現にこのフォーラムの大会に、日 ために、米英はいうに及ばず、諸外国に比べ格段の遅れを来したの 日本人の原子力平和利用に対する関心と興味は、との一、二年間に



屋 使

急速に伸びる日本の原子力

日本の原子力平和利用が今後急速に伸びるに違いないと思われる理 由として次の諸点が考えられる。

まる。 ける消費電力量は四百四十億許以時であった。今後この増加率をい 者は一九六五年原子力発電設備四十五万さらを目標とし、一日も早 所四十五万さな、また一九七〇年には二百八十万さなを要する勘定 くら内輪に見ても、九年後の一九六五年には設備能力で原子力発電 く相当規模の実験用のもの二、三基の急設を 希 譲している次第で 給を推算して立てたもので

ある。

右の事情のもとに

日本の

電力楽 万式以と、更に水力資源を極力開発するものと仮定し将来の電力器 輸入石油中電力用として確保し得るものの限度を百万ないし百五十 し電力発生用にまわし得るもの千四百万ないし千五百万トンとし、 となる。それは日本の出炭量年産五千万ないし五千五百万トンに対 | ヵ年十二%増を示し、昨年度に電気事業者の供給した受電点にお

②日本のラジオ・アイン 九四六年アメリカン・フィロソフィカル・ソサイティーの好意によ り六百いのアイソトーブの贈与を受けた後、主として医療用として トープの需要は急激に増加しつつある。

たようであり、また天然ウランを「ン特派國発)

国向け輸出を目的とし、一万さか 造に主力を注いでいるが、未開発

る。(この記事は読売新聞の好意

による・九月三十日坪川ワシント

省、国際協力局の要人らと懇談す 認するはずであり、一日には国務 委員会を訪問して、その点を再確 寄せたが、十月一日さらに原子力 ると発表したことに大きな関心を がひもつきでない動力協定も結べ

一方が小型原子炉製造にのり出し

大屋団長が代表演説を行ったことは一面所報の通りであるが、

その全文は次のとおりである。

の熱心さが御了解できると思う。

日本原子力産業会議の使

とこに今回米フォーラム年次大会における成果を期待し、今後の一 子力開発計画に協力して、原子力の平和利用を促進する点にある。 て活動している。その主な使命は産業界の意見を結集し、政府の原 諸国との連絡提携に大きなウエィトをおいている。 かたわら各般の原子力資料の出版頒布を行うと共に、特に欧米先進 界の総意に述いて本年三月設立され、現在約五百の法人会員を擁し この使節団を今回派遣した母体である日本原子力産業会議は、産業

たデトロイト・エヂソン会社が計画している助力用増殖原子炉プラ 利用に関する展示と日本のメーカーが製造している原子力計器その 層友好関係と発展を希望する日本原子力産業会議の管会長のあいさ 長ウォーカー・エ・シスラー氏が、私どものフォーラムに密贈され 他の商品陳列をしたところ、十日間に約四十万人の一般観覧者があ 先日とのフォーラムが主催して、東京のある百貨店でアイソトープ つを伝えたいと思う。 ントの模型が、東京の繁華街に展示されたところ、その見物人が日 ぬことが察知できよう。また先般日本に来られた米フォーラムの会 ったのを見ても、日本大衆の原子力平和利用への関心が、並々なら

夜引続いて絶えないととなども、大衆の原子力利用への顕味を示す

の人々は皆その生活程度を向上させることを嫉惡している。また戦 のわが国はこの七月一日現在で九千万人に達した大人口を擁し、こ の繁栄を取り戻し、その結果電力需要は急激に増大している。最近 争の結果絶謀的に崩壊したわが国産業は今や完全に回復し、未曾有

自由国家群との友好を増進

殊に米国の物質的積極的援助によること実に多大ではあるが、根本 各種の理薬が今日の姿にまで回復し得たかは、もちろん諸外国、 何故に日本が戦後政治、経済、社会上のあまたの困難を克服して、 ④日本は戦争により過去の密積の大部分を失った。日本の資源はは 本人は必ず将来において世界の原子力界に多大の資献をなし得るこ 科学に対する日本人の熟意は想像以上のものであって、これらの日 族に劣らぬ優秀さを持っているからである。原子力のような新しい の原因は日本人の科学への研究心と技術を会得する能力が先進の民 ことは日本人はよく知っている。実業家において特に然りである。 空理空論で、自由国家群と友好関係を深めることが絶対に必要なこ とは前述の理由によるもので、一片の感情論で動かされてはならぬ **購入せねば自立できぬ国情にある。日本人にとっては中立など全く 海外に輸出せねば膨大な人口を支える食料や工薬の原料を海外より** なはだ贫弱である。日本は高価な材料を加工して国際水準の価格で とは疑いないと私は信じているのである。

原子力開発にもこの事はあてはまるのではなかろうか。 新産業の発展は民間資金で

する、未開発地域の開発に際し大きな役割を演ずるものであろう。 なく、米国が巨大な犠牲を払って今後久しきにわたり実行しようと から敗出し、今日の繁栄をもたらした境大の要因であったばかりで 優秀な技術陣を擁している。これらの人々こそわが国を戦後の荒院

日本における原子力の平和利用は現在全く開発の初期であるから、 ることになろう。 のであるから、こんで必ず民主官従の形で日本の原子力が開発され 等と異なり、原子力の軍事目的ということは全く考える必要がない 金が急激に大幅に投入されることになるのは疑いないことである。 つれ、たとえば原子力発電が電力事業に利用されるような時期ーモ その費用の大部分が政府により賄われている。しかし開発が進むに われわれ民間人は過去の経験からよく知っている。殊に日本は英米 新しい産業が政府の力のみによって到底大きくなり得ないことは、 れは余り遠い将来のことではないと思われるが一になれば、民間資

項の実施を管路し、後者はウラン鉱の探鉱、採掘、製錬、加工、フ る。委員会できめられた方針は、原子力局と呼ばれる政府の行政機 子力委員によって決定される。委員長は原子力開発担当の国務大臣 の研究は民間の会社が担当し、前記の原子力局の査定に基き政府は また
重水、
グラファイトの
製造その
他原子炉に
関連ある
基礎
材料等 トープの製造及びその利用等原子力平和利用に関する一切の基礎事 運営のもとにそれぞれ前者は原子炉の設計、建設、その運転、アイソ 関により実行に移される。また委員会に附属して、原子力研究所及 代表等が任命され、ノーベル受賞者の温川秀樹博士もその一人であ 日本の原子力開発の基本方針は政府の中に設けられている五人の原 ィションプロダクトの

管理に

当ることになっている。

また後者が全 び原子燃料公社とよぶ一つの法人が設立されている。ともに国家の これに相当の助成金を交付している。 額政府出資であるのに対し前者には民間からも一部出資している。 -ただいまは正力松太郎氏ーで、

委員中には学者、

産業人、

労働者

でたから、近い将来の日本の年幣要量は六万キュリーほどになると想 されるに至ったが、今後農工業に広く利用される傾向が現われて来 ③合成繊維、合成樹脂の製造をもふくめて日本の化学工業は非常な

一九五五年度には三千八百キュリーが輸入

る。日本の化学者、技術者、それに経営者をもふくめて、彼等が母 ととは、長く化学工業の経営に経験ある私自身が最もよく知ってい 勢で伸長しつつある。日本人が化学工業に適した才能を持っておる も関心を持っている一つは放射線による製品の改質と操業の革命と

日本には国立の大学、民間の研究所等が極めて小規模のサイクロト
ロンを所有している外まだ一合の試験用原子炉も存在していない。ようやく来年の 管に米国から購入した場帯し型の小型試験炉が米
国との双彩協定により供与を受ける二〇%震新ウランを燃料として
運派を始めるのが日本協初の原子炉となるのであって、なお極く地近に米国に発達するひとー 5型原子炉、次で日本の研究者の設計による機出力一万ずに炉が次々に前起原子力研究所内に設置され、更に動力用原子炉から進んで増殖炉に至るまで、先進頭よりの援助を、期待しつつ、原子力の開発を大幅に促進しようとしているのであって、その費用が何処から出るにしても、そのエキセキューションは日本フォーラムの会員であるわれわれ民間会社が引受けることになるので、われわれ実業人は日本の原子力開発に当り次の諸点を考慮することが極めて重要であると考えている。①日本が原子力開発の技術で大、個に立ち遅れていることは疑いのない事実であるので、これを取り返すためには自由国家精のうちデヴェロップされた最も優秀な設備した方法には国立の大学、民間の研究所等が極めて小規模のサイクロト
は登録またはその部分品を輸入し、またその技術を習得することが絶ります。

原子燃料と技術要員に関

生ギリスの

⑤わが国には逆境に処してひるむことのない優秀な多数の科学者や

図日本のウラン資源を確認するには今後相当の時日を要することは たりの確保は絶対の要件である。従ってこの考慮のもとに相手国と の間の双務協定の内容、国際管理機構の運営に注意せねばならぬ。 の間の双務協定の内容、国際管理機構の運営に注意せねばならぬ。 の目のである。現在日本で最も然忙を極めている事業の一つは造船 業であることを見ても想像される。船舶の原子力推進に最も関心を 有するものは日本であるといっても過ぎでないから、この面での先 進国の援助が可能であるかを注意することが肝災である。 心

の日本はまだ連転する一個の原子炉をも持っていないため、実際の の日本はまだ連転する一個の原子炉をも持っていないため、実際の をものに限られるのは当然のことであるが、先進配にも収員不足の 方でものに限られるのは当然のことであるが、先進配にも収員不足の 方であるが、のでもあり、今後急速の原子力開発を必要とする日本にと ってこの問題は最大の悩みである。しかし日本は一般的に見て科学 技術の教育が相当に普及し、原子力の要員たるべき資格あるものは 数において十分余裕があるから、国内の原子力に関する施設が充実 するにだい、この難問は漸次解消するものと思われるが、あらゆる 機会において先進国の援助を期待しつつ、収員の紊成削凍に努力を 傾けねばならぬ。

友情を国際事業の基盤に

原至力平和利用

工業用計器完成

私は戦前私が勤めていたあるフィナンシァル・コンツェルンのスタッフとしていくつかの事業で、米国、カナダの最も有力な会社と資本の提携またはノウ・ハウに関する協定の締結に直接関係したことがあった。これらの事業は一つの例外もなしに終戦後の混乱を乗り切って、今日は戦前をはるかにしのぐ繁栄をエンジョイしている。われわれの使節団の団員のうちでも同様の、またはそれ以上の経験をもっている者が少くないはずである。それは協約自身の法律的の力によったものでなく、相互の相手方に対する信頼によったものである。ある場合には個人間の友情が大きな国際的事業の逃離となることすらある。私はこのような関係が、日本の将来における原子力によったものでなく、相互の相手方に対する信頼によったものである。ある場合には個人間の友情が大きな国際的事業の逃離となることを堅く信じてこの大会に出席したの平和利用にも練り返されることを堅く信じてこの大会に出席した

11



8線厚み計各種 **8線厚み計**各種 各種放射能測定装置 神戶工業株式會社 本社神戸中兵和区和田山流1-5 支社東京都中央区八血洲3-7、営栗所札幌・名古展・福岡

2 1 第 4 3 2 1 第 人 阪 市 北 区町橋町人 阪 市 北 区町橋町

ヤマト科学器械株式会社 東京都中央区日本橋本町2丁目9番地電 話 日 木 橋 (24)5231代表

抄録集は英文で

元実して英訳刊行し、海外の関係

日本原子力産業会議では近く

イソトープ会議賞は慎重に決定

盛会に終った第一回日本アイソト 録、論文とし、B5判、約六〇〇 のいきさつ、経過、一般購演議事 委員長が決める。収録内容は会議 木村健二郎氏とし、委員の人選は た。その細目は次のとおりである | 三、英文版の刊行。 論文抄録集を 一、
論文集の刊行。
編集委員長を

英文版を発行する。④「第一回日 う。②第一回アイソトープ会議費 以上の四項目について方針を決め たに作り早急に論文集の刊行を行 編の論文に対する編集委員会を新 は論文祭刊行後において更に委員 腐委員会が九月二十四日午後一時 された問題の方針を決定するため 三十分から産業会議会議室で開か 矛誠司氏を委員長とする同論文推 のまず亘二十六 重点をおく。 聞いて選考に公正を期することと る応用的価値②同学術的価値③同 選考基準は①アイソトープに関す し、そのため論文集刊行後に行う 成は来年初めの予定。

ープ会議の締めくくりとして、残 もにできるだけ多くの人の意見を 一、会議賞。委員を増員するとと で、主として予約出版とする。気 ベージの大部のものとなる見込み

いて検討を行った。 十月一日午後一時から産業会議会 集委員長から幹事の中左記の諸氏 て検討を行った。 の事後措置の件、アイソトープ展 を編集委員に委嘱、編集方針につ 同論文集の編集については木村編 覧会名古屋、大阪開催の件につい 厳室で開かれ、アイソトープ会議 委員会にひきつづいて同幹事会は 【論文編集委員】委員長日本原子

の邦文論文集は十二戸下旬、 行する。②邦文の長さは写真、図 りである。 論文集の編集基本方針は次のとお 稿は筆者に返却して縮小する。③ 表を含め八千字以内、英文は二千 の抄録集は明年一月下旬までに発

界で統一したものはそれにより、 訳語辞典」による。 ⑥文体は当用 類、所属、順序については再検討 論文集はB五判として論文毎にペ 用語は近く産業会議編集で刊行予 -ジ変えどしない。 ④論文の分 の専門語は文部省または学 一原子力産業会厳など千機関に対し一井造船、日立造船の九会社で、提 者のうち有志九会社では、九月二 十五日連名で原子力委員会、日本 いて検討中だった動力設備製造業 動力用原子炉の国産促進方策につ

動力設備製造業者有志の要塞艦

船、三菱電機、三菱日本重工、三

九日朝羽田希カナダ航空機では 学長朝永振一郎両博士は九月三

首会委員遇川秀樹、

當中吳方

東芝電気、日立製作所、三菱造 提出者は石川島重工、新三菱重工 玉

気部築者、船舶会社及び製造業者(ハ)実験炉は原子力研究所の設

. in the

ジェネラル・エレクトリック社を訪問した日本原子力産業使節団

産業会議が系列別原子力の

会、第一原子力産業グループ原子力事業会、住友原子力委員

三菱原子動力委員会、日本

常任理事会令十三日▽法制委第六

見原子方理等記

九

月の活

動

化学グループ研究会◆十七日▽

「原子力産業使節団」羽田出発

節団レセプション▽原動専第二回 英国大使招待による原子力産業使 理事会
マ使
が
団
欲
送会
マ
デ
ニン
ク 回路門小委員会◆十四日▽第六回

日本原子力産業会議では、この度 | となったものである。

準備を進めている。近来原子力利

の活動を助長するための相互協力

專樂経過

要会社との懇談会 ◇川日〉第四三主

第三回主任幹班連絡会◆二十日>

(午後十時半) ◆十八日▽原動學

第三回原子動力委員会◆二十一日

(年前) 粒気 (午後) 物理

◇一旦▽原子中 外事假第六号

(ロ)政府、国会、経済界並びに外

の構想は、(イ)系列別グループ 系列別原子力グループ連絡懇談会

びかけて、連絡態談会を設置する

全国の系列別原子力グループに呼

用促進が座菜界の重要な課題とな

各方面に注目されるに従って

った。のみならず、数個のグルー

▽法制委第四回専門小委員会◆七

専治金グループ研究会◆二十五日

目録◆二十五日▽原子力近料

物理グループ研究会マ第五回原動 亭情」編樂連絡会>第三回原動專

談会

マ原子力

産業使節団の派遣に

関しての産業団体の根談会令六日

マ原動専第二回機械グループ研究

会◆四日▽第二十五回常任理事会 ▽原動専第四回冶金グループ研究

会ぐ五日マストーラー氏を囲む座

◇二十四日▽第五回「原子力国内

日マニュース・フラッシュ・コ

代料方グ発

・アトム第三戸◇十五日▽原子

文推聯委員会>原動專計測連絡会 ▽第一回日本アイソトープ会談論

フ別に、

おのおの独自の活動を

続

原子力発電連絡会職、原子力金 **陶慰話会、東京原子力座業製談**

としては、不便な面も少なくなか

をあげているが、半面原子力の産

毎月一回会合して継載することと 料等の相互連絡を目的としており 原子力関係の内外の動向、情報複

発利用にはグループ別のみの問題

九電力会社を初め各グループ毎に

理絡機関を設けて、それぞれ成果

収め、特に出品物のカタログなど になるようにする。 も入れアイソトープ利用者の参索 蔵、展覧会の諸記録をもうらして 方面に広く頒布する。 「資料」として発行し、今回の会 会職記録の発行。産業会殿の

進めている。これは産業会議

開催は毎月一回を予定されて とが期待されている。 利用の促進に拍車をかけるこ 圏緊密に連絡し、原子力平和

いるが、会合の性格上全業種

行うことが考えられ 団体を数回に分けて が発足して以来、半年余の間

にあらゆる薬種にわ

用語等は総合的に統

日本アイソトープ会議の論文推薦 | 力研究所理事木村健 | 郎、委員(理 線化学)東大工学部瞬師水池敦、 学)東京教育大助教授池田長生、 **農業)農業技術研究所西垣晋** 江座秀雄、国立東二病院倉光一郎 科学研究所大塚巌、東大工学部団 科学研究所浜田達二(工学、 (生物学) 東大医学部野口照久

基づいて出発した産業会議と り、産業界の総意に

しては当然の措置といえるで

般事務連絡。

漢字、現代かな遺いとし小見出 る。 ®英文抄録集の原稿は執筆者 し、図、写真、文献について全体 の統一をはかる。の執筆者校正は と日本原子力遅菜会酸とか一 この機談会によって、座業界 校正期間は一週間とす

に依頼し、更に英文の統一をはか

るためのものであ 布されている原子力 たって、約吾子 と情報の変流をはか く、各種業種の実情 供するばかりでな 関係の参考資料を通 するにいたっている 社が会員として参加 じて会員に情報を提 い即した有効な連絡 定期的に発行配

ている。 なお同思談会開催の 趣旨は次の通りであ

関する連絡(ハ) 係の動向と問題点に 界における原子力関 産業全体の動向に関 力政策並びに原子力 する連絡 (ロ) 各業 **談会趣旨**(イ)原子 ◇産業団体連絡観

子力関係諸情報資料の変流 (三)共通問題の検討、

要超越項

能力を積極的に利用するよう多め 開発に関しては製造業者の経験、

れたい。

(イ) 実験炉の輸入は外貨の有効 からなるべく炉本体のみとし、外 からなるべく炉本体のみとし、外 の許す範囲内において実験段階 に相応しい容量の数種の型の実験 に相応しい容量の数種の型の実験 製造業者の意見を重視すること。(ロ)輸入実験炉の型式選定に当 めるとと。

動力設備製造業者にある。われわ 討
厳の結
果、次の
諸点
について
関 の開拓に、速かに成果を収めるた れ有志はこの重質を果すため研究 キー頭として、わが国の将来に多 なお要望事項は次のとおりであ め援助を切譲するとしている。 人の壓福をもたらしめる責任は、 要説掛は前文と要認事項とから成 前文で原子力を新しいエネル

施に当つては次のごとく処置せらり験炉を輸入するとととし、その実可及的速かに適当な型の動力用実

の製造に経験を有する外頭から、 水準を急速に高め、動力用原子炉 が進を急速に高め、動力用原子炉 究する如くせられたい。

運輸省船舶局、原子力研究所、電 気事業連合会、日本船主協会、原 三、国産動力炉の発達普及を図るためには使用者側と製造者側との全面的な協力が必要であるので、原子力産業会談内にも危気事業者と製造業者及び船舶会社と製造業者がらなる二つの動力炉田産協議者からなる二つの動力炉田産協議 を製造業者に十分利用せしめられ二、原子力研究所の諸施設はこれ

出先は、前配 一機関、原子力局、

アイソトープ新雑誌発刊!!

The Internatinal Journal of Applied Radiation and Isotopes

Editorial Board

P. C. Aebersold (Oak Ridge)

A. H. W. Aten (Asterdam)

M. Magot (Paris) H. R. Nelson (Batelle Memorial Inst.)

J. L. Putman (Harwell) H. Seligman (Harwell) (Pergamon 社刊)

J. C. Bugher (New York)
J. Coursaget (Saclay)
V. N. Kondratiev (Moscow) 第1巻 1, 2 合併号到着

1957 年度雜誌予約申込受付中

株式 紀伊國屋書店 東京都新宿区角管 1 丁目 826 番地 では、(37) 0131~5 振替東京125575 大阪市北区梅田 (梅田ビル 2 階)

第3回配本

顯孟加斯斯 木村健二郎(見本進星)

原子力局アイントープ歌 井 上 武 一 郎 A5判220頁 ¥500

第2回配本

電気試験所放射線課長 伊、旅 岳 郎 A5判230頁 ¥500

7. アイソトープ工業応用技術 東大教授工博 加藤 正夫 8. アイソトーフ医学応用技術 脱大教授医博 山下 久雄

A 5 判180~250頁 備370~550

4. アイソトープ設備と防護原子 力局 井上武一郎

5. アイソトープデータブック 原子力研則的 木村健二郎 6. アイソトープ農業応用技術 東大教授股博 三井 進午

より皆様の御健康を祈り上げま

ヌ展示会を回りましたが、皆 様若干お疲れのようです。フォ

を行うはずに候。管会長に宜し

います。

大会の勝濱は日本語でも判り難

長いことですから今後は大いに

等はとんでもない話。まだ先が

手わけするなり俐限する予定で

い原子力の話を、英語でやられ

老生にて共同アナウンスメント

ンウエルスエヂソン、アルゴン で合流されました。本日はコモ

には難きました。

た。資料を近日

にお送り致し

てもらいまし 中の工場を見せ 問。午後建設

はそれほどとも思いませんでし

的を達したような口ぶりであり

(二十五日藤田信正)

セプションかあ バブコックのレ

います。間もなく二十七日の屁

大屋団長が最初

、計十五社がやっているさわざ。 各種各様の設計をしており、総 各地で原子力を見聞しましたが

中氏もなかなか神妙に会議にも

平和利用を厳重な管理のもとに置 英国代表ディクソン氏は、原子力

まま承認するよう呼びかけたほか くことを主張して規約草案をその

ー・イラン代表、エララ・

りますから御安心されたい。

回元気、愉快に旅行を続けてお

受益国の原子力施設に対する査祭 とを要求する米の立場に同調し、

久組品氏もシカゴで参加、

然し会議は非常にまじめで、出

大喝采で、先ず成功のように思

長から英語で挨拶されました。

ます。皆様へ宜しくお伝え願い

広大な土地をもつもので、こ

ます。

(二十) 百島村武久)

昨日松根、井上両君帯同柴田君

三時にホテルを出てデトロイト

にスピーチをされるはずです。

に向います。(二十七日階目

でも原子力問題は非常に世の関

心を築めているようです。今度

よい季節です。それでは近況お

席者も非常に多く、やはり米国

ロビンス

日はいよいよシカゴに向うこ になっております。小生を含

たが、予定通り無夢に進んでお

スを経て、数日前シカゴ筍、三

0

ジュールの打合せ、フォーラム 昨二十三日はシカゴ到籍後スケ

何等の異論なく意見の一致を得

羽田を発って丁度十日余りにな

セーションを起したようで、会

ます。工場の方

の案内で工場を

儿日無事奏階

0

直ちにCE

後十一時半—桑港時間—大屋

て、団長などもう大体旅行の目

部を終え屋食をとってホテルに

深段りました。 技 術者の皆様は熱

心に出席されて

スラー会長が述べ、次で大屋団 国フォーラムが招待された官シ 来春日本のフォーラム大会に米 昨日夜のバンケットにおいて、

た。共に英語で団長も大健園で

時々ゴルフをやって心身のもみ

ょうは大屋団長から日本原子力

トランクの品物の出入にはホト

大分米国なれがして来て気が楽 て上げたいと思っております。

になりましたが、食事と毎日の

合同会厳を開く発表があり、き

に関する意見の発表がありまし

ただ今フォーラム大会の午前の

じ候。(二十六日大屋敦)

熱意を印象づけ得たるものと感 出席は確かに日本の原子力への

す。呵々。

昨夜の宴会でシスラー会長、大

かに計
要、数学で判ずる程度で

大屋さんも大変張り切って元気

伝え願います。

同無事元気旺盛、明朝七時柔

既に原子力関係ではGE、NA

た。(二十四日藤田信正)

A等で建設現場を視察し、また

加州大学のベバトロンなども見

く、恥をかいただけで事無きを たが、まあまあ旅程に影響もな 配をかけ、用し上げを食いまし

ーラム大会の会費は先方の好意

ス両氏にはそれぞれ土質物を贈 く。(別面)シスラー、ロビン

で会議の費用は免除されまし

着のはずです。 皆様に宜しく

平和と健康と繁栄に貢献 日本も極東代表で理事国に選出か

ら問題となる点を二、三拾って、解説して見た。 世界各国の注目を集めている。発表された規約草案か

の度の総会となったもので、この の秘密交渉、西欧八ヵ国の打合せ、 月二十日から匹週間を予定すると による規約草案会談等を経て、九 ざる国へ提供する」ことを構想と 原子力国際機関は、一九五三年十一なった一つに、機関と国連との関 されたものであった。その後米ソ があった。ソ連は国連の安保理事 係をどのようにするかという問題 め数次の秘密交渉があり、その結 たのであるが、しかしこれでは拒 会の下部機構とすることを主張し 果安保理事会とは切り離して設け では国連の専門機関のようなもの 否相の発動があるため、アメリカ

今度の会議に付議された右の十二

米ソ間の秘密交渉で大きな論争と

界の平和、健康及び繁栄に対する一立たないといっている。 一原子力の質獣を促進し、増大する 造することは、原爆禁止の役には また持たざる国へのみ査察官を派 るのがこれで、同条の六項にあげ なっている第十二条に規定してあ この度の会議でも大きな問題点と め、厳重な安全保障の規定が設け で利用されないことを確保するた れた接助が、いずれの国において を派遣することについて、ソ連代 も軍事目的を助長するような方法 うな目的から、同機関から提供さ よう努力することであり、このよ 表は主権の侵犯であると攻撃し、 である、援助を受ける国に査祭官 გ

極東代表としてこの中に選ばれる 原子力先進の地域代表で、日本は 理事国は二十三で、うち十ヵ国は ものと見られている。また原料、

を指名し、その後の総会が十の理 る。理事会も通常過半数をもって カ国は地理的分布を考慮して、主 技術提供国として三ヵ国、残り十 事国を選出して発足することにな 第一回総会の準備にあたるが、そ 採決し、担否権は認めていない。 の準備委員会がまず十三の理事団 十八カ国の準備委員会が置かれ、 こんどの会議で規約が決定すれば として被援助国の中から選ばれ を引渡さればならない。

特殊核分裂性物質(即ちブルトニ 加盟国は自国が適当と考える量の

晩祭会の席上にてシスラー氏と

日間のフォーラム大会も無事終

数、一々応接していたら体がも

ちません。出

、

的のひまな旅程

了、ただ今デトロイトへ飛んで

を聞き洩らして乗り遅れ、三十

同位元祭235または233を渡

きであるとした。それが今度の草 他の加盟国または加盟国群にとれ 要請があれば、その指定に従って **負うことになる。** 提供国は機関の なったのである。ただ機関がこれ 案では二本建で貯蔵されることと と考えていたのであるが、翌年に うに、原子力の世界銀行としよう 機関は単なる仲介者であり、

ウムー239、ウランー233、 一目的および任務の遂行に役だつ役 配分を確保することになっている

有する資材の貯蔵と保護の責任を

国または世界の一区域に、多様に 集中しないような方法で、 地理的

縮したウラン、これらの一または ととなる。

刊七新開紙から拾って樂録した。 で機関にとって有用と考える情報 のうち主要なものを都内発行の日 あるが、開会から現在までの籤事 会談は十月下旬まで継続の予定で を提供しなければならない。また 世界の八十一ヵ国が参加

供給力を確保することを希認すの機関が燃料の一定かつ継続的な

の研究、開発または実用化に必要 かどうかを密議して、妥当な場合 でき、平和的目的のための原子力 はこれと協定を結んで援助するこ きる。この場合理事会はその適格

各加盟国はこのほか、自らの判断

 敌、
 設備、
 施設を
 提供する
 とか ことになっている。 ての科学的資料を機関に提供する 機関の援助によって得られたすべ

明した。なお次の五点について敵必要である」として原案支持を姿

め九十日間の猶予を聞き、各国の た時に効力を発生する。ただしと そしてその批准が十八ヵ国となっ 受路器は米国政府に密託される。 の機関に提供する情報は参加国自の機関に提供する情報は参加国自 受益国の主権を侵害しないよう

加、仏五ヵ国中の三国を含まなけ の十八ヵ国の中には、米、英、ソ

にかい

R. I.ラボラトリー

必備品

(资料显上):

アイソトープ

障害防護用

ればならぬことになっている。

招請を強く要請。またパキスタン 本時間一十一一日午前四時二分) 開 会。冒頭ソ連代表から中共代表の も表決には持込まれず、全置一致、 で厳事日程と厳事細則を承認した ス氏、副筬長にチェコ代表パヴェ 厳長にプラジル代表丁・C・ムニ を行った。 ル・ウインクラー博士を選出、加 瀬日本代表はムニス氏の推薦演説

代表は規約草案修正に関する厳事 管理しか規定していない」と必酬 味がない。草案は受益国に対する 与国に対する管理を伴なわねば放 な変更には反対するだろう」と述 る草案の均衡ある性格を覆すよう **専重して検討するつもりだが、す** に入る。米代表ワズワース氏が規 べ、ザルービン・ソ連代表は「管 約草案の採択を求め「アメリカは た。なお米代表はこの日機関の 二十四日・との日から一般討談

オーストラリア代表

大が場所はまだ決定していない。 「八年九月びろ」週間の予定で開催 でれることになるだろうと発表し たが場所はまだ決定していない。

海外のご旅行も

日本交通公社

いずれ の要員採用に当っては地理的配 参加したい意向を表明した。 チェコを通じ、正式掛削をもつ を広く求めるべきである。 また 東独の グロテヴォール 首相

ては

は、二十七日 インドのハーバ代表が発達し、核物質生産工場は国際が発達し、核物質生産工場は国際である。 機関は機関外で行われるである。 機関は機関外で行われるである。 機関は機関外で行われる てはならないと述べた。 第二回は明後年

九月の法制委員会

スペンダー駐米大使が演説し、同

第三回委員会の決定にもとすいて 川村専門委員、高野専門委員、高野専門委員、一川村専門委員、高野専門委員で八月七 川飛などの十数名によって八月七 川飛などの十数名によって八月七 田以来七回にわたって開かれた。 フランス両協定、国際原子力機関・規約草条などの問題点を列挙、検 フランス両協定、国際原子力機関・ 人に上げる手はずである。 本号は記事の都合で「原子力」 本号は記事の都合で「原子力」 本号は記事の都合で「原子力」

原子カ界待窒の専門誌/ ◇2号配本中◇

原子エネルギー紫藤

ソヴエト科学アカデミー綿

監 科学研究所 浜田 遠二 ii B5 9 未模 約160頁 電源 開発立花 昭 定価 600(年間一時払3200円) 修日大 医姆森 佰胤 3号 11月中旬配本(年6刊) ~~~~~ 主 要 目 次 **~~~~~**

APS原子炉の物理特性の 研究・原子炉の多グループ **計算法・ウランの工媒的鉱** 床の生成形体・原子力発電 の平均数の測定・ゴムの放 の経済問題他……

3 号 ソ連に於ける原子力発電の 将来・ガス放電内での熱核 反応の可能性・2次中性子 射性硬化の特性他論文20

日本航空はじめ世界の主要航空、汽船会 社の代理店として、いろいろの手紙を代 行し、外貨の削当でから、旅券、査証の 手続、海外のホテル予約など出発からご 帰国まで一切のお世話をするのが交通公

東京都港区芝浜於町2丁 電筋芝(43)3633・2580 大阪町大遊区天六阪急ビ 電 話 堀川(35)7071-大阪営業所

の方に重点があるようである。

月来日した)が勇退してバブコック・ウィルコ

一国協定の方が早くでき、

図最近日本の原子力議員団(団

副会長には、フォスター・ウィーラー会社社長

た。新会長の任期は一九五七年九月迄である。

ント、ラッセル・バーノンの事務局幹部はいず

なおチャールズ・ロビンズ(日米合同会議打合

エネルギー大和田委員長、高橋委 茅委员長、山崎 (文) 委員、総合 **岛、渡辺両委員、放射性同位元素** 当日は、法側岩田委日長、経済佐

闽、原子助力安川委員長、大山副

長、楯本常任理事、福田参与、各 部長、室長、係員らが出席した。

様の御尽力によって順調に仕事 発足以来六ヵ月の産業会厳は皆 委員長の外産業会議側からは管会

の動力協定とは並行して進めうる

の原子力国際機関と日米二国間

座業会蔵理事会で幹部の改選が行われ、一九五 九月二十七日シカゴで行われたアメリカ原子力

ダイナミックス社副社長コードン・ディーン、 アール・ミルズ氏(留任)のほか、ゼネラル

ゼネラル・エレクトリック社副社長フランシス ・マッキューンの両氏が新任された。ディーン

> 産業会議では活動の中枢である常 道に乗りつつある時、日本原子力

わが国の原子力開発が母近漸く軌

, 実現の推進などに関する総合関整

をはかるための第一回会合を行っ

日本原子力産菜会議では、十月十日午後二時から東京有楽町の電 **/懇話会で常設委員会委員長会議を開き意見の交換を行った。**

日本原子力産業会議でこの度サービス企画として設性した産業団体連絡基談会は、その第一回を十月十九日正午から産業会議第一会議室で行った。これは既報のように整定行った。これは既報のように各種業種の実情に即した有効な連絡と情報の交流をはかり、産業界と産業会議を一層緊密な連繋に低こうとするものだけに、数回に分けて行われるが、その第一回会合けて行われるが、その第一回会合

刊

分担と総合調整を検討

会長にイドル氏・副会長は留任一、新任二

三年同会議創立以来の会長であったウォーカー

(デトロイト・エデソン社長、七



第子万度 東京都等で 東京都等で 1の1(東省ビ で話(59)69 振替東京 に価一部 一年分前金

技術受入れの基礎を一日も早く作れ ほい

ので、動力協定の内容もいわゆる 密を解除することに内定している 加圧水型、増殖型、均質型)は秘

原子力特別顧問、フレシャー国際

大の成果収めて使節団パ

と会談するなど、休養の暇もなく

に強を続けたが、その後使節団か

日夜は谷駐米大使主催の招宴に臨

た情報を総合すれば、アメリカ側 日本原子力産業会議に送って来

2情勢は大体次のようなものであ

て簡単なものとなり、残る秘密問一が、研究のため少量を日本に残す。題を除けば、さしてむずかしいこ

するものだけとなるようである。 題は燃料の製造法と残物処理に関 ニウムの軍事目的に使用する懸念 ®残物処理については、 ブルト

ろうといっている。

られるので、数年後には技術的問

常設委員会委員長会議

産業団体と連続 回懇談会

を解放に向う方針のように見受け 要するに、アメリカも急速に万事

て、使用が許されるようになるだ 画を日本から提出することによっ 術で再製可能となれば、アルトニ 使用されるようになり、日本の技 将来ブルトニウムが燃料として再

視祭した原子炉についても報告し

使節団はまた、アメリカにおいて 原子炉の売込みは猛烈

各界の協力に関心

礎を一日も早く作ること(ロ)な 研究すること、などを働告したと るべく小型の動力試験がを入れて メリカの技術を受入れる技術的基 炉開発の方針について、(イ)ア これに反して増殖型とか均質型な

ととは、話合いによって可能であ

の原子力開発について、アメリカ 域に遠していないというのがその どの高級炉は、非常に優秀性を期 待できるが、技術的にまだ完成の 民間事業会社の提携(いわゆるグ 結論のようである。そしてこれら

と解しているようである。 なおアメリカ側では、日本の原子 ンを長期に安定して供給すること 様の設計をしており、その売込み 可能の域に達しているようだが、 うなものは構造も簡単であるだけ

待を持つことができない。 将来の進歩性については大して期

とあいさつした後、橋本常任 からその内容を具体的に説明 で独々意見が交されたが、 主

緊委員会で扱うことは適当でな の商分子の問題を放射性同位元

簡がそ輩

②常般の各委員会と直結する

とが必要ではないか。 台的企画委員会を飲けて行

の二点であったが、これについては適当な考慮と措置を調するようとは適当な考慮と措置を調するようを長長側から希望があり、最後にを表したのとでする問題なので目下密は性重を要する問題なので目下密は性重を要する問題なので目下密 と総

パーガモン社発行 原子エネルギー・シリーズ

PROGRESS IN NUCLEAR ENERGY

8 Series -

Series I: PHYSICS & MATHEMATICS. Ed. by R.A. Charpie & others.

II: REACTORS. Ed. by R. A. Charpie & others. 既

Volume 1. With 240 illus. '56. x, 492 p. 5,500 III: PROCESS CHEMISTRY. Ed. by F. R. Bruce & others. Volume 1. With illus. '56. xii, 420 p. 4,620

IV: TECHNOLOGY & ENGINEERING. Ed. by R. Hurst & others. 各巻とも第二回分が近々入荷の予定,更に Series V 以後も引続き出来

入荷の予定です。何卒お早日に御予約御注文の程お願い申し上げます。

京・日本、橋 都内出 服 所 丸 ピル1 階 改 谷 東 横・新 宿 伊 勢 丹

Tel. (27) 2321, 2351, 2361 東 京 5 番



は一十一日と延期になった。すな フンス原子力事情を紹介するため

わが各界に感銘多上

物理化学部長ジュール・ケロン氏 は、来日当日の十月一日から、フ フランス原子力庁総合計画局長来 | と将来の見通し | と題する講演を | つして離日することとなった。 ゲ 行った後一時間にわたって聴衆の

さにフランスにおける原子力平和 を続けた結果、輝かしい成功をな て多大の示唆を与えたが、同国官 利用を、理論と実情とから説明し 民が一致協力してたゆまざる努力

し、十九日は奈良見物後松本に向 東京者は同日夕刻の予定であるが 質問に答え、午後京大幹部と懇談

①五つの常設委員会並び

に随時 をしているが、これを大別して 開発が具体化するにつれ、総合 ープ会談などの会談活動④使節 開催する研究会の活動②資料出 的な見地から敏活な活動がます な機能で、今後産業界の原子力 中にも常設委員会の活動は重要 の渉外活動、の四つになる。 団の派遣、産業界との連絡など 版活動③月例慇談会、アイソト

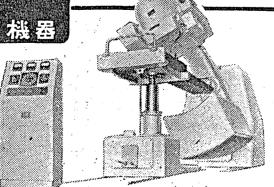
男氏、日本出版協会專務理事 歲次郎氏、日本造船工業会專

Joshiba 照射装置 各種

農業用•理化学実験用 透過写真撮影装置各種

互業用•医学診療用

放射線測定器



コパルト60回転照射装置 (RI-102日型)

わけである。

れと共に、国内でできるだけウラ の方がはるかに容易であった。そ の燃料を使ってすぐ炉を造ること ブの分離を待っている間に、天然 るかどうかもわからぬアイントー

鉱を発見することが問題となっ

それから一九五九

年には電力会社の

ずれも原子力庁の

九五八年に動き始 年、Gーニがは一

所的にも新しい考え方を

電力の原価計算に必要な四つの因子

考えて見たい。

済的な面について について、特に経

はある程度消費す れば、これを取り

原子炉の中の燃料

月例懇談会のゲロン氏講演要旨

める。これらはい

燃料を発見した。フランスはこの 見し、一方マダガスカルでも原子 いて次々に築造されるが、その間

19を出すことに なっている。 原

EDF-1一が動くがこれは十万古 きな以上を出し、一九六〇年には EDFー一が動くが、これは一万

六乗」の不足となるので、この海・トニウムを作るような実験もなる

べく早くやらなければならない

九七五年には一年間に20×10の 発電量全体の四十%であるから一

的なものには進んでいない。プル

究が続けられているが、まだ工業

子力庁の三つの炉については、電

鉱区の開発も進捗し、一九四八

力会社が運転経費として発生電力

を町に流す独用を原子力庁に支払

独立ができると断言できる状況に 原子燃料資源についてはもう十分

いこと、それから有毒さが極めて

遅れているというのが 強いということから実験の用

44

.....

八年に運転を開始し、一九五六年 われわれの母初の実験炉は一九四

には工業用の炉もでき、これに続

ゲロン氏の来日を迎え

鉱脈を探し出すことに重点が注が

来ない仕事の性質上、人員の發成

われるので、今日の講演には有益

な示唆を期待している」との挨拶

量を英国を主とし、ほかに当

六〇セシウム一三七などそ

行機の説の両端に特別装置

大量に安全に輸送された。

から輸入していた。英国か

力平和利用実現の範囲は広いと思 考になる。将来は名古屋でも原子

るため少い時間しか働くことの出

にも努力している。

九四九年から第二期の組織的な

があった。

研究調査して、その上で大きなス れた。まず仏本土の鉱物分布図を

名古屋、大阪にそれぞれ原子力懇談会を開いて同氏の鏘逅を聞き、心なゼミナールが行われ、大阪でも一日開催した。

ジュール・ケロン氏の来日を迎え、日本原子力産業会議では東京、これに関する討議を行った。このほか東京では四日間にわたる熱

その結果グルリから貧鉱を発見し うな所を逐次探査網を縮めて行き

ランを持たなかったフランスが今

るほどのストックを持っている。 日では原子力国の有力な一国とな

射線化学の現状と将来について」

けるアイソトープの応用および放 ついでゲロン氏が「フランスにお

さきにアメリカからグットマン、 東京 第五回原子 半満場の拍手に微笑でこたえなが

とと何ずる」とあいさつすれば、 第五回を開き、フランスの原子力 氏を迎えて十月五日午後二時すぎ 利用計画の楹跋ジュール・ゲロン ラア大会堂にまたフランス原子力 フォックス、シスラー三氏、イギ 多くの示唆と教訓を得られるこ 長が、主催者側を代表して立ち、 定刻にやや遅れて産業会議の管会 右四機関の関係者のほか一般聴衆 術会と共同主催で聞いたもので、 研究所、日本化学会、日仏工業技 事情に関する一般蹣演を聞いた。 日本原子力産業会議が日本原子力 力月例根談会は、同じ日本工業ク 今回ゲロン氏を迎えていろいろ ン二三五の分離作業も行わない。 ランを使わない。したがってウラ のを遊るという三つの原則を定め 術応用部長が出て担当した。 実験に手をつけなければならなか た。それば、まずできるだけ早く 原子炉は天然ウランを使用するも 発に着手するとき、差当り濃縮ウ ら勝演の位置につく。通訳は日仏 「フランスは一九四六年原子力開

傍らで通訳を通じ、一々うなすき 項のように説明した。 経過から、現在の状況、さらに将 ったからである」と説き起し、ウ 教室で説く講義のような懇切さで 来の利用計画にわたって、大要別 ランの探鉱、炉の運転など開発の

ながら聞いていたゲロン氏は一時一だ。通訳と入れ代り立ち代り黑板 関々にまでにじみ込ませる平易さ あつた。てらい気の少しも見えな い、たんたんとした、聴衆の頭の

フランスの原子炉を語るには、ま

ず何故に最初から天然ウランを使

て、これに非常な努力を払いなが

スで電力に使った石炭の掻は、一、ろいろの点で考えなければならぬ

ことも多い。

また原子力に使うグ

ラファイトについても十分計画が

一九五四年ないし五五年にフラン、楽観している訳ではなく、まだい

ように最初から一つの方針を決め

つの炉でも造ってエンジニアを登 ならぬ。それはなるべく早く、 うように考えたかから説明せねば

まれた事実を特にお伝えしたい。 思われた次の瞬間非常な成功に恵 ら、これが不成功に終るだろうと

は時であり、その後も急速にふえ できているし、 重水についても考

であり、電力の消費量は五百億十 年間に 100×10の六栗、一億%

くの時間を致しても果して成功す

1一炉は一九五七

に多くの時間を要する、しかも多 であった。一九四六年当時は非常 成し、早く実験を始める必要から

およりやや少い出力のGー一炉は

九五六年、一万五千六以余のは

なる。フランスの水力発電は大体

は今寒験室的には非常に熱心な研

も非常に重んじている。

ウラニウムニ三五の分離について

いまフランスで造っている二千古

ていくと思われる。一年間に七・

脳されている。

五%の倒合でとと十年位に一倍に

四時からは持参のスライド三十五一に出席した。 の日はユーモアも飛び出さない。 微笑はたえずたたえているが、こ

ただ真剣なゲロン教授の姿であっ
| 氏は、同夕五時半から築地新喜楽

ることが、いかに大切であるかを

ている。ただ民間の探し出した鉱

民間企業の採鉱、探査をも奨励し によって資源の利用を蹴っている 庁の独占は行われていない。規則 十人である。しかし仏では原子力 り、要員は土取を除いて千八百五

元産業界、大学、研究所などから

終了後ひきつづいて同会場で、地

との座談会に入り活発な質疑応答 の関係技術者、科学者ら約七十氏

外国からの参加者である。

えた。

われず全般的に詳しく精密に関べ

ら発見されたこと、先入側にとら

た。司会住友化学常務正井省三氏 中央電気クラブ四階勝堂に開かれ 一時三十分から、大阪市北区堂島 原子力懇談会は、十月十五日午後 日本原子力産業会議の第四回関西 | ほど説明し、懇談会終了後、 開記者団と会見した。 ラブ二階で約四十五分にわたり新

て、あくまでもわからせる説明を ス政府並びにゲロン氏に謝辞を述 游演後

聴衆の質問に対して二十分一たのである。 第に熱を帯び、傍らの黒板を使っ 見えたが、勝演の進むに従って次 連日の活躍にいささか疲労の色も | 必要な人員の遊成③必要な機械の ンを発見するに必要な機械を、他 ち去られていた。それでまずウラ ランのストックさえ戦争で独に持 国に依存せずに作ることが大切で 製作を第一符手とする必要があっ あると考えた。①ウランの探查② は未発見の状態であり、若干のウ には、残念なから国内のウラン鉱 九四五年仏の原子力庁設立当時

に関し、二時間にわたり講演した。 ンスの原子力事情特にウラン燃料 べ、ついで立ったゲロン氏はフラ

講演の要旨

知識を与えて来ているという現況 成し協力して必要な原子力の母新 である。原子力庁は民間企業を育 出るという義務を課しているだけ 床はまず原子力庁に売却方を申し

一九四八年にフランス母初の実験

講演の要旨

相談に応じて指導しているが、そサービス部門を設け民間の使用のサービス部門を設け民間の使用のまた原子力庁は技術指導に当る

の前に立つ熱心さだ。親しみ易い一枚を使って、フランスの原子力利 用の実情を紹介し、四時三十分に 至って漸く終了した。なおケロン の産業会議役員と関係者の晩食会 地下十メートルほどの所でヒッチ か百メートル離れた所で、しかも にもかかわらず思いがけない所か 地質学的には精密に作業されたの ブレンドを発見した。このことは 九四八年リモデの国道からわず

原子力庁を中心として展開してお

初めて訪れた外国原子力界の根威

わたる真剣な満演を行い、同市に

の勝濱に耳をすませ、ノートする

など熱心な聴衆に多大の感銘を与

一同ク 新しい鉱区はどんどん探査され、 探すことは一応やめて今度は採鉱 の方法を改良するという方向に版一である。 もてる程度に迷したので、飲区を 一九四八年の終りには一応希望の

が開会のあいさつと共に、フラン

本原子力産菜会議、中部日本新田 和利用中部整談会の共催で、 社、名古屋商工会議所、 屋市における原子力跡演会は、日

ジュール・ケロン氏を迎え、名古

る。工業的にはこと十年やそこら 十二日午後二時から愛知県文化会 の間に、そうした燃料を使うこと

名古屋原子力講演会

でも野命の短いアイソトープが得 炉が動いた。これによりフランス

で進められている。

なり原子力庁が協力助営する立場の研究、製造は工業会社が主体と

名古屋商工会議所高坂専務理事の 近代的な会場には、地元各界の名 ま原子力開発の実験期にある日本 **島一郎氏代理須江取締役から「い** 司会でまず中部日本新聞社会長大 士、関係者約二〇〇名が出席して と産業規模のよく似たフランスの

作って入手した。その後強力な実

一お知らせしたい。

ついては英国と共同の利用機関を った。しかし放射能の強いものに

同研究の方法が適切であることを 合は危険であるので、こうした共 合は危険であるので、こうした共

械に比べてもっと精巧な機械を動 うが、しかし将来いまの幼稚な機 という地館はイギリスもフランス にはあまり大きな意義はないと思 かすようになり、これを使用する 次に燃料サイクル くなるのであるからこれを考慮に て一倍ないし三倍のオーダーとな 所では初度調弁費が経常費に比べ じオーダーであるが、新しい発電 の発電所では経常数と建設数は同 うに考えることはできない。従来 入れなければならない。 って来る。固定数の方がずっと高

最後の段階まで使われるというよ うなことについてはまだ十分研 詰め換えねばならぬが、燃料が 出して再生するか ることはことにむずかしい問題で のだから、この売却値段を計算す いる私の同僚が私の留守中に作っ ある。この目的を果すために一つ まだ世界中に売るほど多くはない しい問題であり、プルトニウムは



写真はゼミナール(東京)

あるが、これらはいずれもむずか を出そうとするならば匹つのファ 設費、資本の利子、燃料の生命、 とういう炉について仮に電力原価 プルトニウムの売却値段がこれで クターを併せ考えねばならぬ。建 て、フランスの原子力事情を究明

するためのゼミナールは十月三、

た質問事項の説明、その他

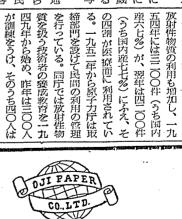
聞かれ、東京のゼミナー

十六日大阪商工会競所西集

ジュール・ゲロン氏の来日を迎え | ぞれ午前九時三十分からだ 日本原子力産業会議の第一会議室料公社、日本化学会の共同主催で 庭菜会議と原子力研究所、

第一日(三日)は東大教技小川芳 が氏の司会で「核燃料の精錬加工 及び原子炉材料の生産について」 第二日(四日)は原研理事本村健 二郎氏の司会で「核燃料の精錬加工 が三日(五日)は同じく原研判事 の嵯峨根遠吉氏司会で「物料火薬の再処 地崎文男氏の司会で、前日の"動 力炉の設計に関する問題"の残り 力炉の設計に関する問題"の残り

本 社 東京都中央区銀座東3-4電話(54)2612 工 場 十条・伏木・都島・小倉・八代・坂本・釧路



王子製紙工業

本 社 侳 北海道苫小牧市•爱知縣春日井市 は、正力国務相を初め原子力委員、

校で一行と落合い、倉吉出張所開

また人形峠は鳥取、岡山両県境に

位であり、いずれも本年度の下部

調査を期待されている。

わが国最初のウラン。鉱開坑式に一で乾杯するが、十一時倉吉市西高

三吉鉱山と爲取県小鴨鉱山でその閉坑式を行った。

ラン、ブルトニウムの国内開発五ヵ年計画を立て準備を進め さる八月十日新発足以来、原子エネルギーの根源たる天然ウ

発見された燐飼ウラン鉱を伴なう

約三メートルの隧頭は、現在まで

確認されたものの中では扱も優

有望で、中でも中部のヨコロ谷で

るが、調査の結果はそのいずれも 部、西部及び北部に分けられてい

原子燃料公社が三吉と小鴨で

ていた原子燃料公社では、十月二十日及び二十一日、岡山県

年

十日午前十一時半三吉鉱山に到着

正午から現地で開坑式と披露会を

出席者は十九日早鞆号で出発、二

原子燃料公社でこの度事業の皮切 時三十分東京駅翁帰京する。 所式並びに披露会を行い、同夜六

るウラン鉱床である。本年度の鉱

めて発見された水成岩中から産す 近い三朝町にあり、わが国では初

行い、式後自動車で同所を出発、

午後五時ごろ人形峠の探鉱予定地

山を含む地域は、岡山県倉敷駅の

している地域で、とのうち三吉鉱 公社が差当り重点的に開発を計画 りとして開坑式を行う地区は、同 など多数参列したが、東京からの

関係機関、公社役員、

地元與係者

談会を開いた。

を視察して、同夜は三朝温泉で鳥

岡山両県ウラン開発打合せ想

で、スズ、タングステンの石英脈

なお原子力局では、このため燃料

ことになっている。

約六ぎにわたって詳しく調査する 鉱床の地表に現われている状態を 床精査では、

鉱床

鉱頭を追跡して

北約三古の丘陵性カコウ岩地帯

十九年八月までタングステンを目 が多数にあり、三吉鉱山は昭和二

的として採掘していたが、しばし

千万円から三千万円とすることで

R(材料試験炉)を見学しているところ(アメリカ大使館提供)

全体委員会の審議は極めて快調に

複製配布する。(四面広告欄

ストである。

イソトープ産業利用報告書を

フォーラムで作成した米国ア 日本原子力産業会議では、

米

【写真説明】国会議員よりなる「UA原子力調査団が、アーコのMT

たので、政府の出資金を現在の一 公社の設備資金増額が必要となっ

口で開抗式を行い、冷酒とスルメ

在採取試料で、検討中のものであ ばウラン鉱物を伴なっており、

十分小磯鉱山ヨコロ谷の探鉱坑道

のみが菅ノ原に向い、午前九時三 二十一日は正力国務相と公社役員 百三十坪を予定してあるが、高さ

場合と同様であるが、異っている

後の会場の構成はほとんど東京の

あり、展覧会の会場はその一部六

総面積が千五百坪もある広さで

この展覧会もその祝いの催しの一 十一月一日は同百貨店の完成祝で

つとして企てられたもの。一階の

| 易に解説し一通りの基礎知識をも

って展示品を見るという仕組み。

分間「アイソトープとは」とい

二つの映画会場をしつらえ、約十

った映画を並行して映し、まず平

イソトープとは」という原理説明

たに豊富にならべられること。そ SIS、英国大使館の出品物が新

初のウラ

鉱開坑式

鳥取県小鴨地域は便宜上東部、

いう趣向。東京開催の場合に「ア・

入口近くに設け人気をあおろうと

一素」の部門を一緒にしたこと、U

点は原理のところへ「安定同位元

の関係でマニュプレーターは一階

第一回日本アイソトープ会議第二部展覧会は独 日 から名鉄百貨店で

と銘打っていよいよ十一月一日から十一日まで 立して原子力平和利用「アイソトープ展覧会」 名古屋で開催する。 王催は従来通り日本原子力産業会議、日本放射

員会、科学技術庁、日本学術会議、日本原子力 性同位元素協会、毎日新聞社、後援は原子力委

研究所、文部省、厚生省、農林省、通商産業省、

百貨店で地元出品物も豊富にとり入れ、東京以 委員会となっており、新築の名古屋駅前名鉄 所、愛知県、同教育委員会、名古屋市、同教育 名古屋商工会議所、国立名古屋工業技術試験 上の充実した催しが盛大に開かれる運びとなっ

東京の経験を活かしてさらに充実 画 で 說明

十一月一日(木)午前十 名古屋の展覧会開場式は 時三十分から名鉄百貨店 正力国務大臣、藤岡原子 あり、ついで祝辞として 五階で開かれるが、まず 刀委員ら及び地元各方面 王催者代表のあいさつが

の部分が最も理解し強いという声一れに解説者、実験者を倍の四十名 特に観衆には各学校の団体観覧がし 説明に心を配っている。 近くに増員して至れりつくせりの

会場の一部には別に講演と映画の

講演と映画も付設

め、残りは一月に、いずれも

会費は三百一十五ドル なるというもの。

米貨で払い込む。申込締切は

関西の原子炉は二本建

設置位置調査準備委員十八名決る

会場を作り東京同様連日平易な解

目下四階まで完成、売場となって

歴史の部門を出し、引きつづいて で会場へ上るとすぐ装飾について が多かったので、エスカレーター

ナルデバート。十階建ての建物が

いるが、会場の五階は十月末完成

抜きの場所、名古屋唯一のターミ

会場の名鉄百貨店は名古屋駅前目

名古屋大学商橋信次教授(医) ととなっている。

する予定となっている。 説跡演を一回と数回の映画を上映

有力者、出品者代表など バーティーが催されると 同十一時三十分からティ 田名古屋工業試験所長の 場のテープが切られ、久 が予定されている。終っ 案内で会場の説明を行い て正力国務大臣の手で会

物、写真などを加えて豊富に出品 であるが、医学、工業、農業への 県立水産大学、中部電力などが主 かりやすく解説することに主眼を される。特に名古屋工薬試験所か 験所、名古屋大学の各学部、三重 地元からの出品物は名古屋工業試 雑踏が予想されるので、意楽でわ ら予定されている繊維の静電除去 用はこれら独自の研究成果を実 昌一教授 (理) 以下交涉中一関 授(工)名古屋工業試験所名表 戸弥太郎教授(理)森田徳義教 (度) 小穴進也教授 (理) 坂田

原子力関係資料目

営者や役人のために設

録の編集会議開く

日本学術会蔵、文部省、経済企画 原子力関係の資料目録を連報して で昨年六月以降毎月一回各国別に からなる「原子力関係資料連絡会 所、日本原子力産菜会議の七機関 庁、工業技術院、日本原子力研究 いた。この資料目録は国会図書館 子力関係資料目録の編集会議を開 の編集、日本原子力産菜会議発行 十月八日午後国立国会図書館で原

の場所柄だけに郷土色も豊かに人

エーション装置などの実演は織物

放射線化学利用としてのイラディ

蔵省、厚生省、農林省、通座省、理 にする②新たに人事院、外務省、大 の各国別分類を改めて内容種類別 る。なお当日の会議で①資料目録 にも協力を求めると共に、内容の **最近原子力関係資料が急速にふえ** を加える③利用者の希望により発 庁、特許庁、防衛庁、日本電信電 輸省、労働省、建設省、科学技術 整備を行うこととなったものであ 連絡会メンバー以外でも相当入手 いるものである。 話公社、原子燃料公社の十四機関 している実情から、それらの機関 の実験原子炉設置位置調査準備委 は関西の原子炉建設につき検討の 十月十一日原子力委員会定例会嚴 結果、大学関係の研究炉と実験助 力炉を切り離し、原則として二本

会を聞くなどを決定した。 行部数を増加するの毎月一回連絡

員十八名を次のように決めた。 根遼吉、関西電力常務一本松珠 副選爭長駒形作次、同選爭嵯峨 **遠清天、地篋研究所長那須信治** 大工学部安宅滕、気象庁長官和 部長児宝信次郎、京大工学部坂 阪大理学部長仁田勇、 務理事松根宗一、原子力研究所 東大広瀬孝六郎、日本学術会議 原爆障害湖查委員会中泉正徳、 静雄、京大理学部棋山次郎、阪

政府支持方針 **學力国際機関規約**

磁所專務理事里井逵三良 化学常務正井省三、大阪商工会 **旦近船社長松原与三松、**

新三菱重工事務服部讓次、

隻

とになっている。 を逐次本会議にかけて採択すると 議を全体委員会に切り換え、逐条 代表の一般討談を終了し、三日会 審議に入り、ここで決定したもの 会議は二日までの予備会議で出席 たので八十二岁国となった。 スーダン政府が参加招請を受諾し

伊 쨦 東京都千代田区丸ノ内壱丁目四番地

コールダーホー

ぬ修正を織り込んだものであり、 三条の機関の任務を規定したもの 大きく問題となったのは、まず第 のある微妙なバランスの上に立っ 全体がすっかり狂ってしまう恐れ 少しでもこれを変えようとすれば であった。これについては各国か ているものであるからである。 のものであるといわれてい 模の原子力発電はこれまでも って連転を開始し、爽金国学 王の式場から入れたスイッチ が十月十七日正午、エリザベ に電流を供給し始めた。試験 コールダーホールの原子力が 十七日運転開始 界最初を発行われている。

れたが、商業的規模では世界

規約採択会議は、十月三日新たに

国連本部に閉いた原子力国際機関 九月二十日八十一ヵ国が参加して

米国アイソトープ利用報告書 日本原子力産業会職で複製頒布 一六年以来与日までの米国内の一資料によったもので、一九四一九四一十二一十二< アイントープ産業利用の全当

れる。これは欧州諸国その他 力跡座」という誤演会が開か からの要請で、技術的 来省バリで「経営者向き原子 緊張のない。突業界の経

日ずつ同じ内容で四回、日を

すらして開かれる。

十二月三日。講座は一月十四

多数予定されており、東京以上の

芦田浮教授 (農) 平井駕造教授

主催者にはAMFアト

らんの原子力講座

礎知識から用語、原子

さえ聞けば原子力の基 けられるもので、これ

うち百五十ドルは前金で納 ッククロフト卿、J・ ド・ウイルコックス、

方面への応用まで何で 力業務の将来性、生産

もわからぬことがなく

の分・尺・デビス、マーヴィ ひ・ダックワース、米 師には英のジョン・コ リックなどもあり、跡

ジェネラル・エレクト 社、バブコック・アン ・アメリカン航空機会

えている。 ン・フォックスなどの名も見 ミックス会社、ノース 例会では規約に対する態度に なお十八日日本の原子力委員 府として徴成の基本態度を決 えないこととなった。 政府は1 報告してあるので、この態度 協議したが、先にこれを原則 するはずである。 三百か二十六日の閉路で、日 支持するとの方針を決めて政

訪英調査団出発

ものと見られている。

| 進み、若干修正案が出ても本筋に ようである。これは草案そのもの は大きな変化がなく進行している 八カ国第一次原案に百を下ら 助力炉臓人の調査をするため訪英の原子力発電調査団の一行、副団の原子力発電調査団の一行、副団度雄、原研理事嵯峨根庭吉、東京工大教授大山義年、三菱日本重京工大教授大山義年、三菱日本重京工大教授大山義年、三菱日本重京工大教授大山義年、三菱日本重京工大教授大山義年、三菱日本重京工大教授大山義年、三菱日本重京工大教授大山義年、東電千準火力建設所長辻本進、原研弘田実飾の諸氏は十月十五日午後五時三十分部氏は十月十五日午後五時三十分部氏は十月十五日午後五時三十分部に大国経世界の一大の局部などと意見を交換すると共にコールダーホールを初め名地 の原子力施設を調査見学する。 士音羽田から仏

京大工学

本社 東 京 都 中 央 区 宝 町 電話 京橋(56)代表4181(10)·5181(10)·6111(10)·8411(10) 阪 • 広 文 店 名 古 屋・大 路• 商 144 • 122 台•机 沢 • 仙



ウム資源とその選鉱、製錬マ日 計画内定の経緯マウラン、トリ 和三十一年度原子力研究委託の

の燃料の対日供給と価格の研

日本茶の接待を受けました。

ワシントンではホテルも中心

究用としての分裂物質処理の

気を回復されたようです。大

(十三百一長尾節造)

と、体中に均等にゆきわたるから

ナトリウム一四などを使用する

本学術会議原子力関係委員会の

毎月一回十五日発行。十月母の主

な内容は次のとおりである。

ーズ委員長に約一時間会談①

ることと存じ候。兎に角大変

ストは何れお送りしますが、

恩生つつがなく日程を進めて

なかなか盛会で、その後で久

一振りにてんぷら、すし、

の話で頭も沸騰型のようにな

りました。ただ今ナイヤガラ

があるかを計る方法は容易でなか

ろのことがわかる。

ったのが、アイソトープの応用で

な手数と費用をかけたる今回

日は米国AECストロ 型くことに相成候。 昨 日直接ニューヨークに リッジ行を取止め、明

促進②国際原子力エィジェン 動力用原子炉の工業的実験の

シーと日米双務協定との関係

▽昭和三十二年度原子力平和利

用予算概算要求内容の紹介マ昭

◇原子力国内事情(第六号)

会員配布刊行物

日本原子沙産等金種

老生一人のみオーク

昨! 百は五時大使館に坐まり

約三十分谷大使のお話を伺い

係は変化ありません。

したが、シスラー氏の対日間 がフォーラムの会長になりま 連日連夜の原子力ぜめ

たく候。(二日一大屋敷)

には感激の至りです。今回バ

アコック

イドル氏 スの社長

釈されたかを測定するのが稀釈法 鼠の中に均等に混入し、何倍に稀

ら、簡単に実施できるものではな

分析器などの特殊接触が必要だか

る結果と存じ候。体の調子も

ざデトロイトから出て来で具 ラー氏も誕生日なのにわざわ

れました。同氏の数々の好意

に団員一同同情の結果

日一藤田信正) 頂きました。(十月二 学及び制御」(野本明氏)以下三

ープ「原子力原動プラントの動力

央研究所高橋実氏司会で機械グル 錫三氏)以下五件、午後は電力中 止について」(横須賀、安藤、真

「原子炉の運転制御の諸問題―停

祭」(長安実氏)以下五件と決定

した。なお十月中に行われた同委

ターを訪問。二十九日フォー

十八日デトロイト・エデソ ン及びGMテクニカル・セン

よう感ぜられ候。今朝国際協

谷大使のレセプションあり米

たるよう存ぜられ候。今晩は を認識さするに相当効果あり

国側よりも官民多数の有力者

丐

を深むるに相当効果ありたる

0

ド博物館を見てワシントン番

本の原子力の前途等につき十 を歴訪、民間人より見たる日 力局、瓯務省原子力担当官等

三十日の日曜は思い思いに過

所バツケージの技術的、経済的観 件、経済グループ、小型原子力発電

図会の研究会 (今後行われるもの

を含む)は次のとおりであった。

マニー日経済グループマ九日機械

プ(会場東大好仁会)マニ十三 ン二十二日午前十時冶金グルー グループマ十六日電気グループ

話になり、殊にデトロイトの

ト間ではシスラー会長のお世 しました。シカゴーデトロイ

阪本両君の存在は他の代理を

斡旋及び通訳等につき集田、

ションにも各界の代表的人物

ートソン国務次官補のレセプ

(ストローズ委员長も含めて)

際く程多数出席せることもわ

ムから正式の招宴あり、シス りであります。今夜フォーラ 連日連夜寸暇なきこと文字通

許さざるほど重要にて団員

ホテル代は全部払って

早午後一時三十分化学グループ

二十六月午後一時三十分物理グ

第二回セ

ミナー

度から原子力科を設けようと考え

: 訪米調査議員団帰る 米国政府

日本原子力産菜会蔵原子動力委員 壁業会 議会 議会 選金で 開催する ことに 会専門部会の第三回原子動力セミ は、十月二十、三十一の両日

の午前は東京電力の竹内良一氏司 午前、午後に分れ、第一旦三十日 両日とも午前九時三十分からで、 力生産の冶金学」(武谷滑昭氏) 以下六件、午後は三菱電機木村久 会のもとに冶金グループの「原子

每月一回五日発行。 ▽放射線の生物学的影響(全米

どんなものが多く使われるのだ。一三一とは診断上にも治療上にも共

に多く使われる。その外には治療

医学上の応用といっても

ソトーブは沢山あるだろうが、

医学上に応用されるアイ一になったので、その応用法が非常

に広くなった。燐三一とヨード一

最近は安価に多量入手

の島史郎氏司会で電気グループの

第一百三十一日午前は日立製作所 田光穂氏)以下三件である。 路築物からブルトニウム除去」(平 下に件と化学グループ「研究所の

大、大阪、京都の五大学に、明年記者会見で、東北、東京、東京工 十三日朝大津についた清瀬文相は 学校保健大会に出席のため、十月 五大学に原子力科第六回全国

男氏の司会で物理グループ「中速 エネルギーの集合体に対する理論 と実験の比較」(水岡典義氏)以

容は次のとおりである。 ▽原子力とアメリカ政界の動き

◇ニュース・フラッシュ(第五号) 十月二十五日発行の予定。 ◇原子力資料(第九号) 科学アカデミー報告徴の全訳) モンローの高速増殖炉に三労働 マAEC、アラスカ向け発電炉 のための契約予備交渉を承認マ 診断上と治療上では目的も方法も 弯

大阪、京都の五大学に、明年一うに安価に多量が入手できるよう一って、寿命の長いアイソトープを から使用されて来たが、最近のよ される。これらのものは相当以前 とヨード一三一とが一番多く使用 要がある。いずれにしても隣三 非常に違うから、分けて考える必 月二十五日刊行の予定で、主な内 ◆原子力海外事情(第八号)。 毎月一回一日発行。十一月月は十 ▽日本原子力産菜会議の活動▽ 間団体、会社の組織と活動状況

月末・原子動力委で開く 上げることを決定した。

核融合反応の研究を同委員会で取 員会定例会議では、かねて懸案の の原子力委

青十一日 以下四名は、十月四日午後六時十 間にわたり、アメリカ各地の原子 分羽田着の日航機で帰国した。 ■団一行中の有田宮一氏(団長) 力施設を視祭中だった訪米調査厳 の招きで、さる九月九日から三週

物理学と原子力利用の全般的な指 科学院筋から明らかにされた。中 を正式に招いたと、十月八日同国 共政府では揚川氏に、同国の理論

府では日本の原子力委員湯川博士 中共が湧川博士を招く、中共政 数管をあてれば、摂取率がわか る。その摂取率が正常者では投与

位の強さを記録するとアイソトー

る。たとえば印状腺にヨード一三 通りの紋様を記録することができ プの存在する濃度に準じて、その

で体内の物質の移動及び分布

性のアイソトープがあれば、

巹

特に悪性腫瘍組織に

ンの診断ができるか。

態を追跡震識(トレーサー)と

発見できるわけで、ガンを見

一が入っている場合に領部でそれ

示す。それで、その細い穴を縦横

に正確に少しずつ移動して、各部

ガン診断にも利用

量の二一%であるが、甲状腺の機 でいるだけの場合は、正常者と同 九%も密積される。甲状腺が腫れ 能亢進があるバセドー氏病では五 様の摂取率である。即ち摂取率で

一導を期待している模様である。

甲状腺の機能が分るのである。

シンチグラフとは

とがわかる。蛋白結合ヨードでガ を行うと、甲状腺の形態と大きさ

ンを診断する場合にこれを行うと

が盛んである。そこで燐アイ

総は正常組織に比べて、核酸 だすことができる。一般に腫

五十問答 アカ

使用する時は、十分に注意して使 アイソトープのある場所を正確に一段近臨床上にも重要視されて来た

なわけで、シンチグラフの応用は 移の有無も検出できる。そのよう ガンのある範囲がわかり、また転

広くなつた応用法

甲状腺疾患の診断

器には入らない。したかって投与 尿に排泄されてしまって、他の臓 る。吸収されないものは容験から ドを内服させると問から吸収され を選択的に吸収する。放射性ヨー て、二四時間以内に甲状腺に集ま 【答】 甲状腺は人体内でヨード 愚の診断はどうして行うか。

性アイソトープの水素一、密素 一五なども医学上に応用されてい

【問】 放射性ヨードで甲状腺質

の中に入れるには野命の短いアイ 五一などが使用されている。人体 ソトープを使用する方が安全であ

上にはナトリウム一四、クローム

〇などが相当利用されるし、診断 七、金一九八、ストロンチウム九 上にコバルト六〇、セシウム1三

|後||四時間後に甲状腺の部分に計 屋、坂本氏は汽車でニューヨ す。 りノックスビルに飛んでいま ークに

項行、

その他は

予定通 (三百機上にて一座田信

点から甲状腺腫の診断に用い はまた甲状腺に集まるので、

体内全赤血球数も計れる

窓の記載が現われれば

百発百

を示す。将来ガン組織と一対 組織にバイニー一度よの技

は放射性のガリウムがよく、

中一阪正断に

体内深くできた骨腫瘍の診

付けしたものを少量作りそれを大 【答】 放射性アイソトープで札 事か。その実例を教示されたい。 法とはよく聞くことだがどんな 臨床上盛んに行われる稀釈法 りでなく、安定なアイソトープ、 重水素や重窒素の応用も行われる ようになった。そのためには質量

単にできるが、体中でどの位の母 数を数えることは一般の方法で開 盛んに行われていることであって る。このようなことは今日臨床上 した赤血球の一定散を注射し、全 である。たとえば帰三一で札付け 立方ミリメートル中の赤血球の ないが、ガンマ線を放射するアイ ソトープを使用し、シンチレーシ 【答】 まだあまり普及してはい ソトープが利用されるか。 心臓病や循環障害 心臓の診断に放射性アイ

心臓のところにカウンター、チ 診断上に役立つのである。

「原子灰」休城

Cont.

・カルジオグラムといつて、心臓の弁院に異常があるかないか、血の弁院に異常があるかないか、血値リットルの血液が排出されるかなどがわかるので、診断上の役に立つ。 完

本 るために、皿流速度を計ることもできる。たとえば、手の静脈に延射したものが、足の動脈まで来る時間を計ると普通は二〇一四〇秒であるが、動脈硬化のある人などであると五〇一一〇〇秒に延長す はで、それが間接的に循環障害の とのある患者では吸収が遅れるわ とのある患者では吸収が遅れるわ

者に静注すると、選択的に睡 探知する。 ヨードのアイソト 集まるので、外部からガンマ アイソトープをつけたものを コードフルオレッセンにヨー ると一種類でような にでき 特別 筋 ソ代稿 つしめ と親の こうでに 思めずを はもれ 殊 ン断 ト 謝組 けて 状れ 和

東京電力の 電柱広告一手取扱

コウ丸腫瘍、食道ガン等には に用いられる。乳ガン、子宮 ープを使って表在性のガンの

の放射線検出器を用いて応用

ているが、膿瘍のような炎症

注意を要する。

計測することはできないから

深在性の脳腫瘍ではベータ

陽性の結果を示すから、判定

電燈廣告株式會社

取締役社長 神戸徳太郎 本 社 東京都 港区 芝田村町 2 - 4 T E L (57) 3611 · 6382 · 7491

米国アイソトープ利用報告書

Industrial Utilization of Radio Isotopes

1946 - 1956

内容 本報告書はアメリカ原子力委員会の民間利用部アイソトープ課の資料に基づいてアメリカ原子力産業会議が編集したもので、アイソトープの配分開始の1946年から1956年までの10年間に工業的に利用した業種別会社名、アイソトープ核種、使用目的、使用年度の全リストである。

頁数 A4判 (菊倍判) . 133 頁

複製予約申込受付中

実費頒価 500円 送 料 32円

申込先 日本原子力產業会議事業部 東京都港区芝田村町 1-1 TEL: (59) 6981